

関西
21

新幹線にも採用された 防振材ノンブレンを開発

株式会社枚方技研

<http://www.hirakata-g.co.jp/>


ノンブレンの成型作業

Company Profile

株式会社枚方技研

住 所／〒573-0128

枚方市津田山手2-20-10

設 立／昭和47年2月

資本金／1,000万円

従業員／51名

T E L／072-396-9001

F A X／072-396-9002

■主な事業内容

メカトロニクスの開発・設計・
製作、防振材製造・販売、テク
ニカルコンサルタント

■主な取引先

半導体・液晶パネル製造会
社、車輛・自動車製造会社、
電機・電子機器・装置製造会
社 等



当社のセールスポイント

お客様の「ものづくり」を
独自の技術と想像力で支え、
ニーズにお応えします。



代表取締役
森山 知佳津さん

不況の中でも、企業にとって研究開発は絶やすことができない部分。当社は開発設計で、そのサポートをしているので、常に安定した需要があります。防振ゴムにはない柔らかさと耐環境性を活かした商品づくりや他社とのコラボレーションなどを通して、活用範囲を広げていきたいと考えています。



ノンブレンの商品群

枚方技研は、事業の主軸を機械設計に置きながら、約20年前から自社開発商品であるノンブレンの設計・製作・販売を行っている。ノンブレンは新開発のポリウレタン・ゲルを使用した新タイプの部材で、従来のゴム系商品に比べ2〜4倍の防振・防音・衝撃緩衝効果が期待できる。新幹線レールスター号の床下防振に採用されてから徐々に注目を浴び、ニーズに合わせて精密機器から車、建築物など様々な分野で活躍している。

開発のきっかけは、同社が設計で携わっていた半導体装置関連企業から防振について相談を受けたところ、偶然、ポリウレタンを扱う企業から新素材の使い道はないかと持ちかけられたことである。二つの点を結びつけ、試作した防振材を半導体装置に付けてみると、かなり細かな振動まで抑えることがわかった。同社がノンブレンの本格的な研究開発に乗り出し

防振材と機械設計の 両輪で事業を展開

新幹線に採用され 一躍、注目の的に

たのは、その後のことだ。

「新幹線に採用されたのも、当社が研究のために通っていた産業技術研究所の先生に車両メーカーの担当者が防振対策を相談していたことがきっかけでした。採用までに3年かかりましたが、結果的にはそれが大きな宣伝効果をもたらし、多方面から引き合いが来るようになりました」と森山社長。自身も機械設計に携わりながら、クリエイティブ集団としての企業姿勢にもこだわっている。

同社の特徴は、機械の開発設計



設計室

量産体制も視野に まずは機械づくりから

「いま、社員の8割は設計技術者ですが、防振材の需要に合わせて今後は部門の構成比も変わるかもしれません。高品質を保ちつつ大量注文に応えられる生産体制づくりも検討中です」。何より自社の用途に合わせ、コストも極力抑えた製造機械を作れるのが同社の強み。ニーズに応じて体制を緩やかに整え、量産に向けたものづくりも視野に入れていく考えだ。

にとどまらず、設計者が自身の手で機械を組み立て、製作まで手がける点。それによって、操作性や機械としての強度などを体で覚えてもらい、描いた絵が形になっていく工程を通してコスト意識までも養うことができる。設計部門には営業マンをおかず、取引先に出向くのもすべて設計者。お客様の求めに応え、その場でコストの話までできるようにという一貫した実践主義だ。